

2009年度 環境報告書

Annual Environment Report

目次

1. はじめに
2. 会社概要
3. 環境方針
4. ISO14001認証登録状況
5. 環境組織体制
6. 環境監査
7. 法遵守状況
8. 2009年度 環境負荷低減活動 結果
9. 2010年度 環境目標
10. 用語解説

1. はじめに

NECグループでは、良い伝統は維持しつつ新たなNECグループ、“OneNEC”を構築しようと、ビジョン・バリューを設定し、グループ全体が向かうべき方向を明確にしました。

“人と地球にやさしい情報社会をイノベーションで実現するグローバルリーディングカンパニー”（ビジョン2017）を示し、社会的使命を果たし、大きく成長しようと再出発を始めました。

NEC情報システムズでは、NECグループのビジョン・バリューを受け、環境との調和を企業活動の重要課題の一つとして捉え、事業活動において社員一人ひとりが環境への優しさを優先して行動してまいります。

本報告書はNEC情報システムズの環境活動をまとめたものです。お客様をはじめ、お取引先、地域社会の方々を含めたステークホルダーの皆様に、当社の活動を理解していただきたいと思えます。

今後も、皆さまの温かなご理解ご支援のほどをよろしくお願い申し上げます。

環境管理責任者

執行役員 横井秀志

2. 会社概要

(1)社名	株式会社NEC情報システムズ (NEC Informatec Systems, Ltd.)	(6)売上高	2007年度実績	486億円
			2008年度実績	465億円
(2)本社	東京都港区芝3-8-2 芝公園ファーストビル		2009年度実績	369億円
(3)設立	1984年4月9日	(7)従業員数	1,695名(2010年4月末現在)	
(4)社長	岡田 裕行	(8)事業内容	弊社ホームページをご参照下さい	
(5)資本金	2億円(NEC全額出資)		http://www.nec-nis.co.jp/	

(9)NEC情報システムズが目指す姿

「一人ひとりが生き生きと働き、現場が自ら問題を発見し、解決するシステムハウス」

●企業理念(NECグループ)

NECはC&Cをとおして、世界の人々が相互に理解を深め、人間性を十分に発揮する豊かな社会の実現に貢献します。

●経営理念

- 1.顧客満足を第一とし、高品質のソリューションとサービスを提供する
- 2.情報技術と業務/システムノウハウの先進性を追求し、より高い顧客価値を創出する
- 3.たゆみない創意工夫による改善と新しい価値創造を追求し、競争力を高める
- 4.社員一人ひとりが、より創造的・主体的に行動する風土をもった組織にする
- 5.企業の社会的責任を自覚し、良き企業市民として行動する

●行動指針

- 1.常に顧客に対して提案を送り込もう
- 2.顧客に対して高品質の信頼とサービスを提供し続けよう
- 3.技術・ノウハウの先進性を保持し続けよう
- 4.創意工夫による改善と主体的な課題解決に挑戦し続けよう

3. 環境方針

NEC情報システムズは、先進情報技術と高度なシステムサービスを通じて新しい価値を創出し、社会の発展に貢献しています。

事業活動においては、環境との調和を念頭に置き、次のとおり環境保全活動に積極的に取り組み、地球環境保全に貢献していきます。

1. 当社の事業にかかわる環境側面を考慮して、次の項目を重点的に取組みます。

(1) 省資源活動の推進

オフィスからの排出物の分別徹底によるリサイクル化促進と廃棄の削減、および環境配慮型商品の購入推進により、省資源化と資源枯渇抑制を図ります。

(2) 省エネルギー活動の推進

電気を主とする省エネルギー活動推進により、地球温暖化防止と資源枯渇抑制に貢献します。

(3) 環境に配慮したシステム／サービス事業の推進

環境に配慮した事業活動、およびシステム/サービス製品を提供していきます。

2. 環境関連の法律、規制および当社が定めたその他要求事項を遵守します。

環境マネジメントシステムを構築し、環境方針に沿った目的及び目標を設定し、定期的に見直しを行い、継続的改善及び汚染の予防を図ります。

環境方針は、全社員に周知徹底すると共に、求めに応じて社外に開示します。

平成17年7月1日制定

株式会社NEC情報システムズ
社長 岡田 裕行

4. ISO14001 認証登録状況

NEC情報システムズでは、2002年度よりISO14001に則った環境活動を開始し、当時の本社である、かながわサイエンスパーク(川崎市高津区)で初めて認証を取得しました。

その後、分散していた拠点を統合するために、2005年に芝公園ファーストビル(東京都港区)に本社を移転し環境活動を継続しています。

登録番号 : JQA-EM5952

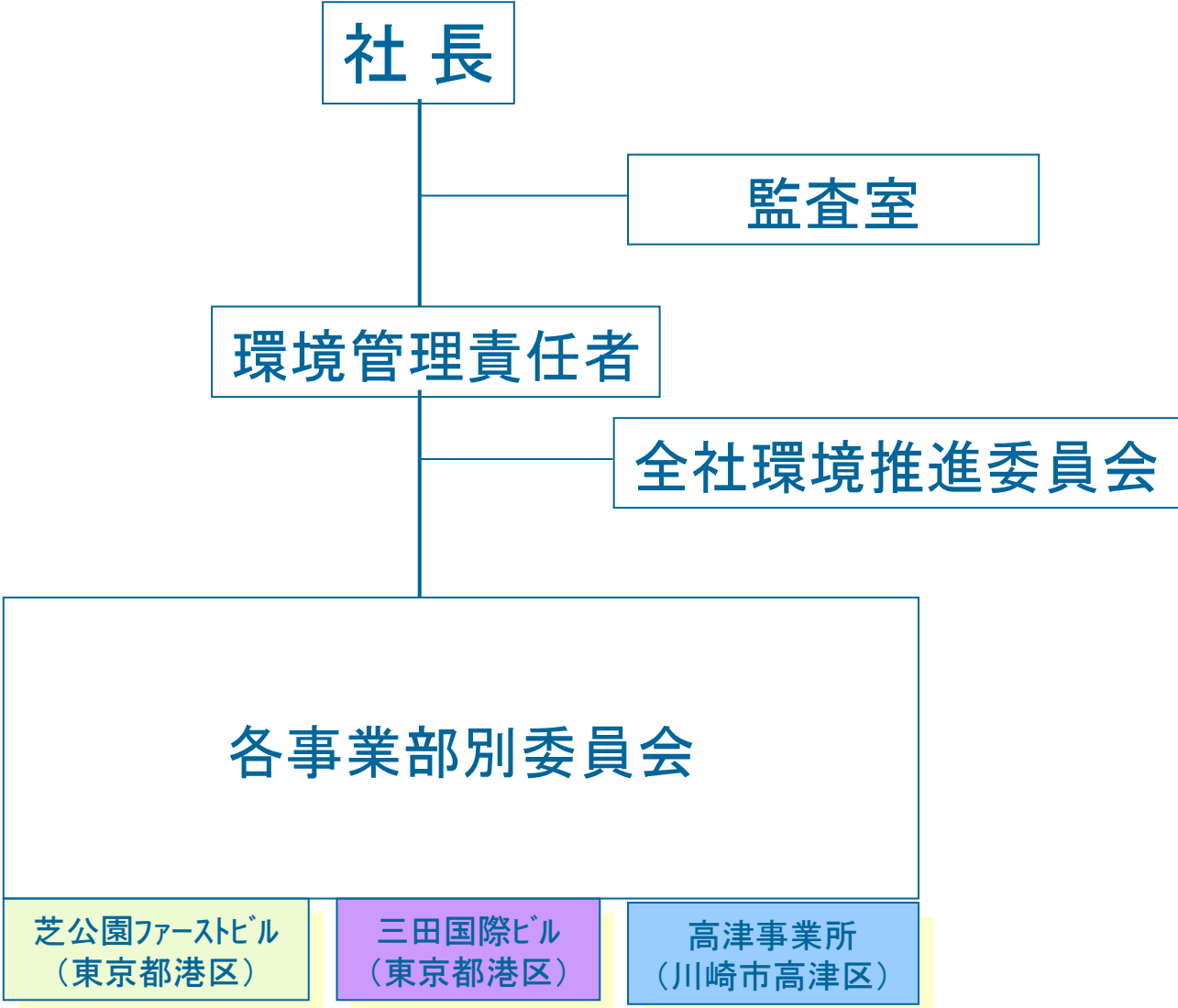
登録日 : 2007年11月27日

有効期限 : 2013年 3月18日

登録範囲 : ソフトウェア、コンピュータシステムの開発・販売及び保守

審査登録機関(財)日本品質保証機構(JQA)

5. 環境推進体制 (2010年4月現在)



6. 環境監査

(1) 内部監査

NEC情報システムズでは、毎年、環境活動についての「内部監査」を行っています。内部監査は、所定の手順・基準通りに環境活動を実施しているか、自部門以外の者が独立した立場でチェックし、社長へその結果を報告し、「内部監査」対象となった事項に関する改善を促す機能を有しています。

- ①整備状況(環境マネジメントシステムがISO14001の要求事項に適合しているか)
- ②運用状況(環境マネジメントシステムが、自社が自ら定めた取り決めに適合しているか)

(2) 外部監査

NEC情報システムズでは、認証機関によるISO14001認証の適合審査を受診しています。財団法人日本品質保証機構殿の代替審査の資格を得たNECより2009年12月に、財団法人日本品質保証機構殿より2010年1月に、環境マネジメントシステムの審査を受けた結果、規格の要求事項に適合していると認められました。

7. 法遵守

NEC情報システムズでは、規制を受けている環境に関する法規制、条例等の特定を行い、法規制遵守のための一覧表の作成、最新版の維持とその遵守状況のチェックを行っています。

規制を受ける法律としては、環境基本法、省エネ法、廃棄物処理法、リサイクル法、家電リサイクル法、地球温暖化防止法、環境教育法、環境配慮促進法、および都県・市区条例などがあります。

2007年に廃棄物処理法が改訂され、産業廃棄物の排出実績を次年度6月末までに報告が義務化されましたが、当社においては2008年6月から自治体に対し排出実績の報告を行っています。

8. 2009年度 環境負荷低減活動 結果

NEC情報システムズでは、環境方針をもとに環境影響評価を行い、毎年、環境活動目標を定め活動を展開しています。2009年度も、NECグループの“ITでエコ”の標語のもとに、環境配慮支援となるエコソフト・エコサービスの推進を第一の目標としています。結果は、12項目の目標の内、9項目において目標を達成しました。残りの3項目については、次年度以降も引き続き課題に取り組みます。

各目標の結果詳細については、次頁以降に掲載します。

目標（2009年度）	活動実績	評価
(1) 「エコ・ソフト／エコ・サービス」創出の推進 ①全社員のエコ・イクセレンス度（知識・行動力）アップを目指したNECグループ環境教育を実施する ②NECグループ環境意識調査に参画し社員のエコ・イクセレンス度60%以上を目指す ③エコソフト／サービスの環境配慮評価アセスメントを実施する（目標：15件） ④エコソフト／サービスの環境配慮評価アセスメントをクリアしたものをエコソフト／サービスとして登録する（目標：8件） ⑤エコソフト／サービス登録したものの中から、CO2削減を計測する（目標：4件） ⑥エコソフト／サービス登録したものの中から、CO2削減値を計測し、NECエコインポスターに登録する（目標：2件） ⑦顧客へのエコ提案を推進する（目標：200件）	①100%受講 ②42.8% ④17件 ⑤8件 ⑥3件 ⑦2件 ⑧212件	○ △ ○ ○ △ ○ ○
(1) 働きやすい職場環境作り 現場革新活動によるカイゼンを通じて、業務を効率化し環境負荷削減につなげる ・クリアデスクの職場環境を維持・継続する ・クールビズを実施する ・定時間日の退社率を向上させる（目標70%） ・深夜残業を減らしタクシー利用を削減する (2) 会社外での環境活動推進 環境活動を紹介し社外での環境活動を啓発する。チームメイト6%、環境家計簿、カーボン・ダイレクト等	定時退社66% 活動継続実施	△ ○
(1) 電力使用量の削減 ・省エネルギー施策を徹底実施する 消灯励行（含む共用トイレ）、冷房調整、PCオフ・省エネ設定 サーバ集約化、プリンタ・コピー機の複合機集約化、PC台数削減（1台/人） 707の効率利用・削減等（目標：前年度比較3%削減）	9.57%削減	○
(1) 省資源活動の推進 ・紙使用量の削減施策を徹底実施する。電子プレゼン推進、両面A7アップコピー励行等（目標：前年度5%削減）	36%削減	○
(1) 分別廃棄の定着化 ・分別廃棄の継続的徹底を図る ・個々人がゴミを減らす努力を行なう	活動継続実施	○

○達成、△もう一息、×未達成

8-1. 環境配慮支援:

「エコ・ソフト／エコ・サービス」創出の推進

2009年度目標	施策
「エコ・ソフト／エコ・サービス」創出の推進	<ul style="list-style-type: none">①全社員のエコ・イクセレンス度(知識・行動力)アップを目指したNECグループ環境教育を実施する②NECグループ環境意識調査に参画し社員のエコ・イクセレンス度60%以上を目指す③エコソフト／サービスの環境配慮評価アセスメントを実施する(目標:15件)④エコソフト／サービスの環境配慮評価アセスメントをクリアしたものをエコソフト／サービスとして登録する(目標:8件)⑤エコソフト／サービス登録したものの中から、環境負荷評価ツールを使ってCO2削減を計測する(目標:4件)⑥エコソフト／サービス登録したものの中から、CO2削減値を計測し、NECエコシンボルスターに登録する(目標:2件)⑦顧客へのエコ提案を推進する(目標:200件)

「エコソフト／エコサービス」製品の創出に向けステップを踏んで施策を展開した結果、2つの製品をNECエコシンボルスターに登録することができました。

- ◆EMI抑制設計支援システム『DEMITASNX』
- ◆文書・コンテンツ管理システム『PROCENTER』

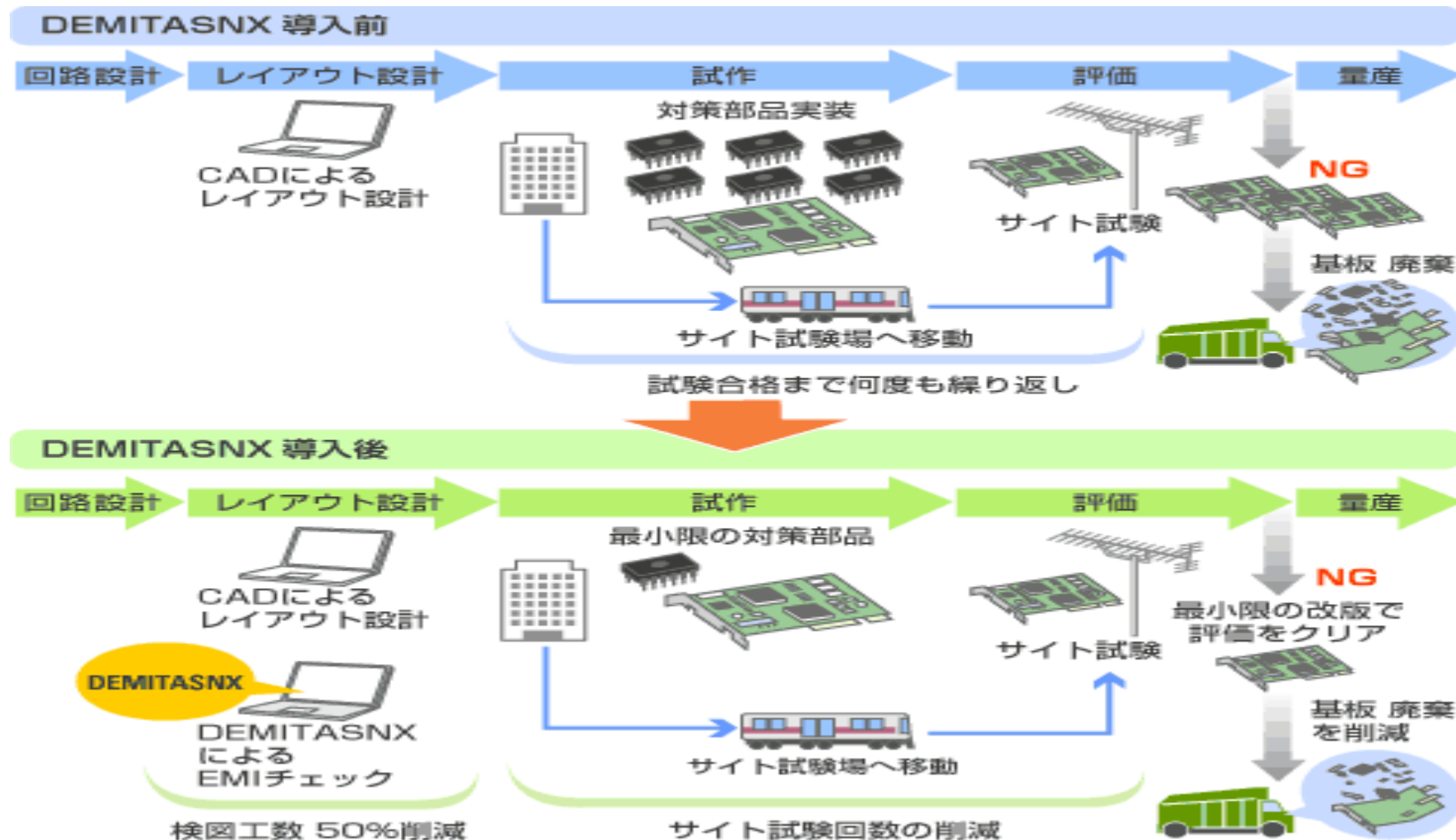
8-1-①エコソフト／エコサービス登録

■EMI抑制設計支援システム DEMITASNX(デミタス) 環境負荷評価モデル

CADデータを用いて設計の上流工程(試作基板製造前)でEMIシミュレーションを行うことで、プリント基板から発生される不要電磁波を抑制する部品配置、配線を検討できるソフトウェア。

NEC中央研究所で実験、検証した最適な閾値・チェック項目・チェック方法を利用し、シミュレーションを行うことで、より効果的な解析が可能。

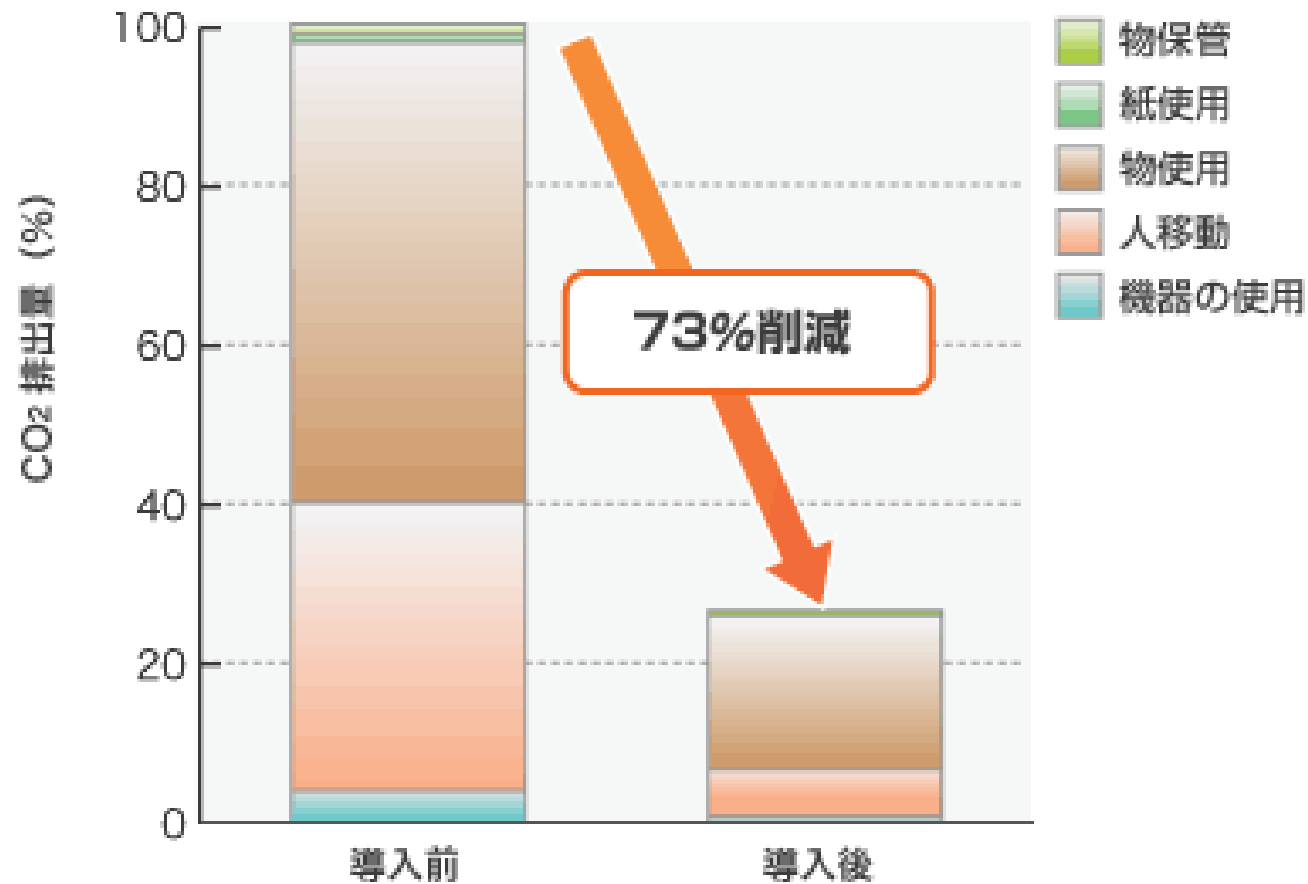
またNECの様々な特許技術を用いることで解析スピードも従来のシミュレータが数時間かかっていたものを数分で結果を出すことが可能。



8-1-①エコソフト／エコサービス登録

■DEMITASNX 環境負荷評価結果

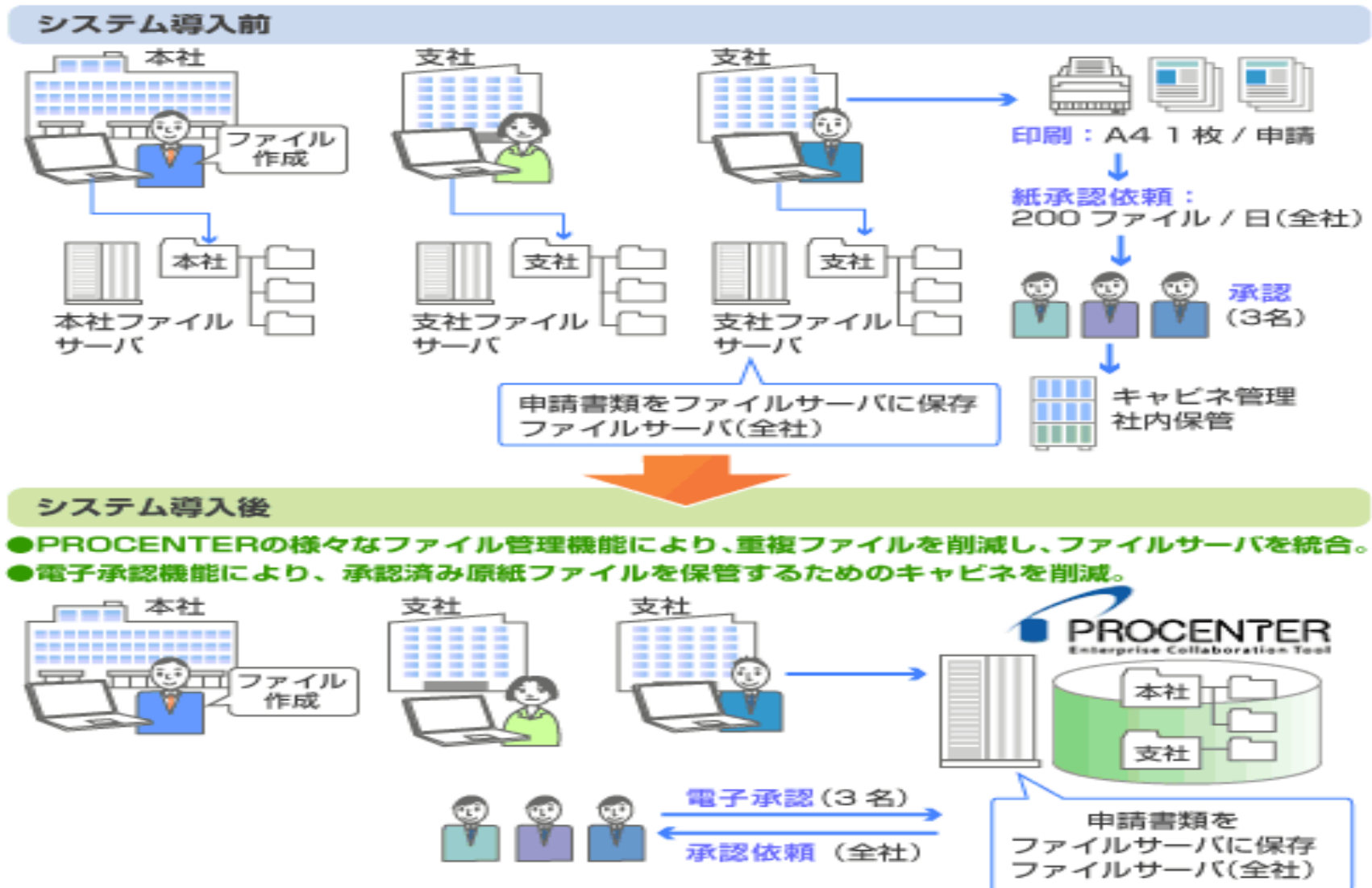
導入によりCO₂を約73%削減。主に機器使用、人移動、物使用、物保管不要による削減効果大



8-1-②エコソフト／エコサービス登録

■文書・コンテンツ管理システムPROCENTER 環境負荷評価モデル

これまで拠点ごとに、様々な媒体で管理していた文書を、アクセス権・版管理機能・電子承認機能等を用いて、一元管理できるソリューション

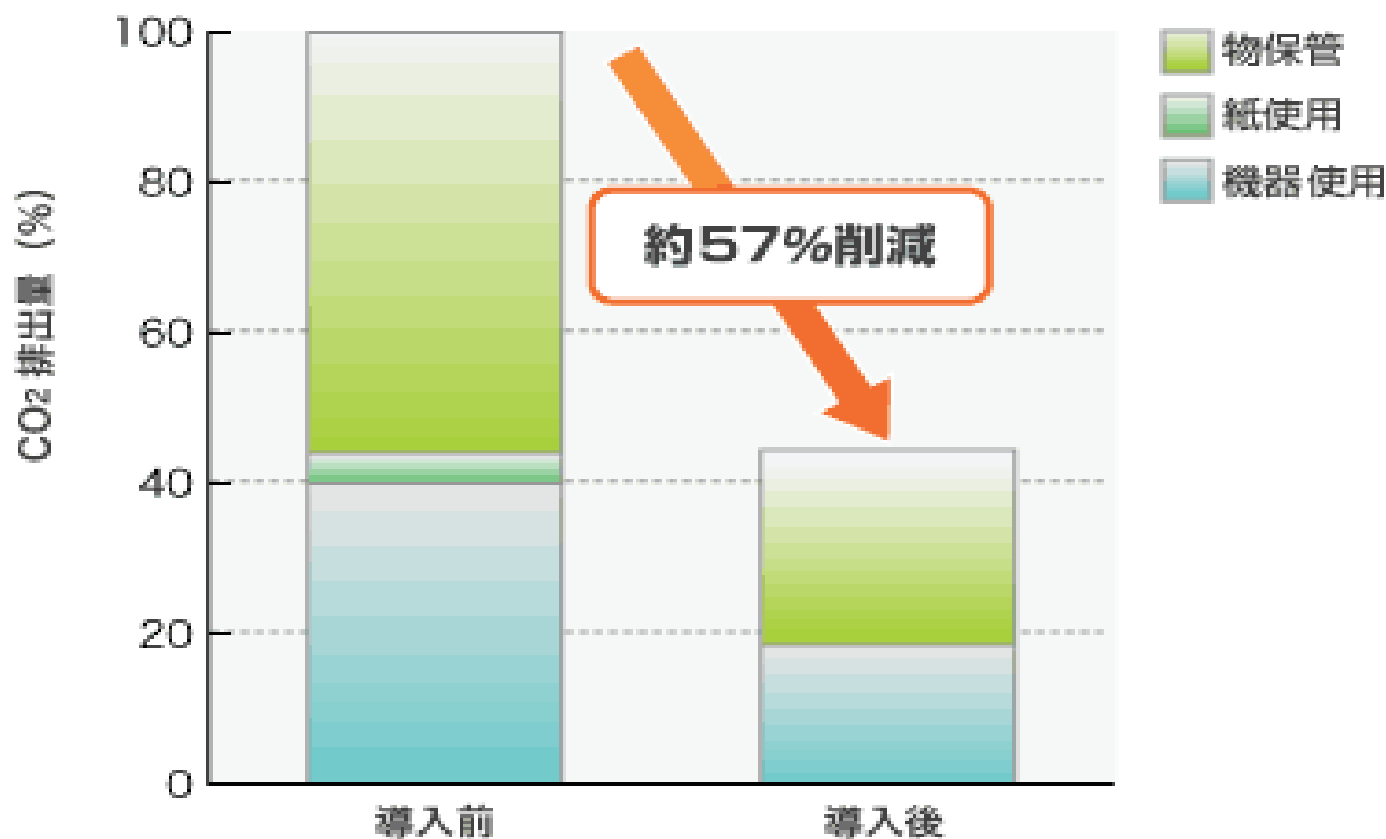


8-1-②エコソフト／エコサービス登録

■文書・コンテンツ管理システムPROCENTER 環境負荷評価結果

PROCENTER導入により、CO₂を57%削減。ファイルサーバ(機器利用)とキャビネ(紙使用、もの保管)の削減による効果大。

- PROCENTERのファイル管理機能により、重複ファイルを削減し、ファイルサーバを統合。
- これまで承認行為が必要な文書の原紙保管を行っていたが、電子承認機能により、原紙
- 保管するためのキャビネ等も削減。



8-2. 環境保全:

環境保全活動推進

2009年度目標	施策
・働きやすい職場環境作り	現場革新活動によるカイゼンを通じて、業務を効率化し環境負荷軽減につなげる ・クリアデスクの職場環境を維持継続する ・クールビズを実施する ・定時間日の退社率を向上させる(70%) ・深夜残業を減らしタクシー利用を削減する

現場革新活動、安全衛生活動等の活動とも並行して活動を実施しました。

- ・クリアデスク(帰宅時は机の上にノートPC等備品、資料を置かない)
- ・クールビズ6~9月実施 等

8-3. 省エネルギー:

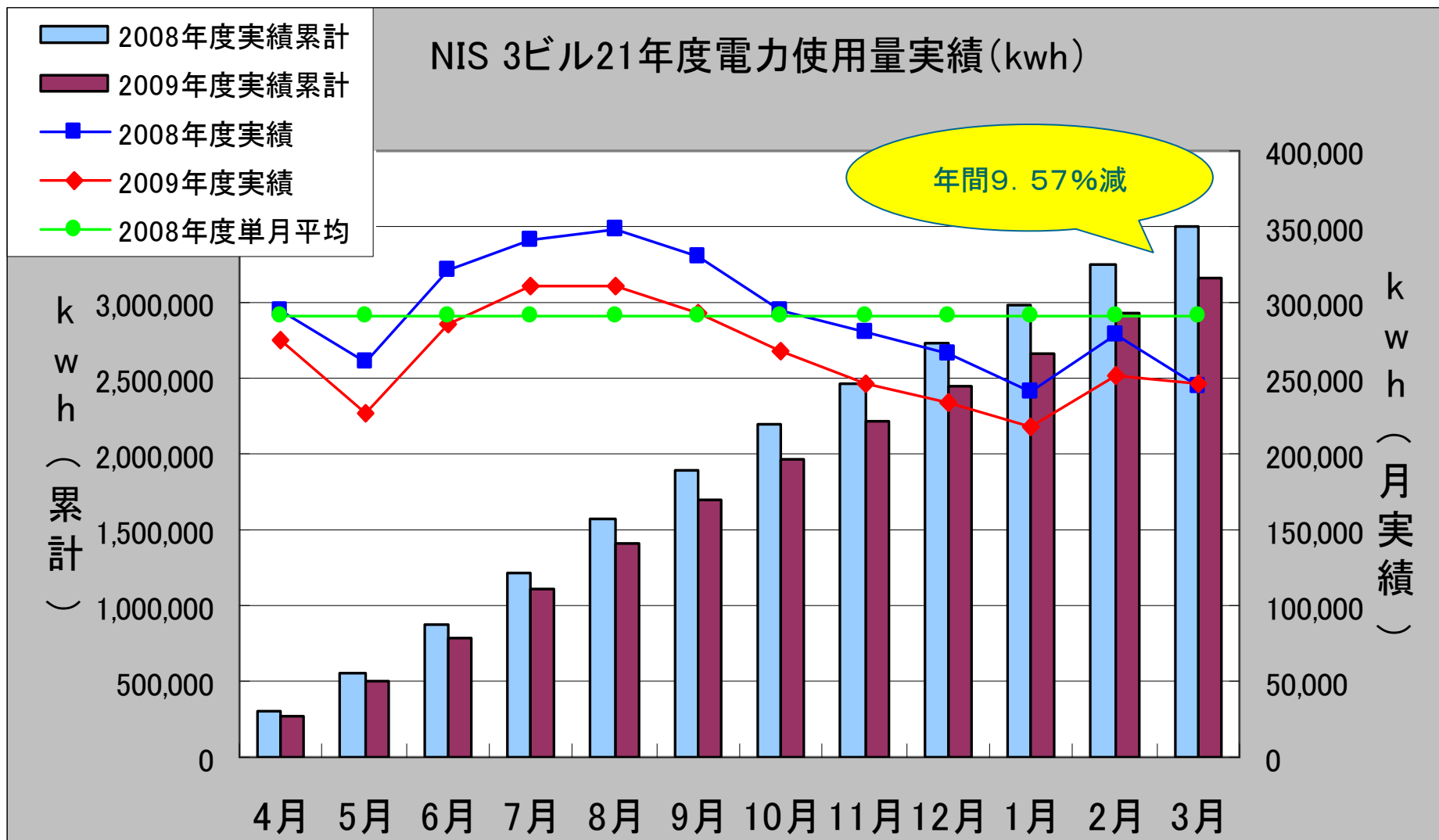
電力使用量の削減

2009年度目標	施策
省エネルギー施策を実施し、電力消費量を前年度比で3%削減する	<ul style="list-style-type: none">・不要照明の消灯・冷房の温度調整(夏季28度)・昼休み時の天井灯消灯・パソコン省エネモード設定・長時間離席、昼休み時のパソコン電源オフ・定時間日退社の推進

各種の電力使用量削減施策を徹底して行い、前年度比較で3%削減の目標を大きく上回りました。

実績: 9.57%

8-3-①



8-4. 省資源活動推進:

紙使用量削減

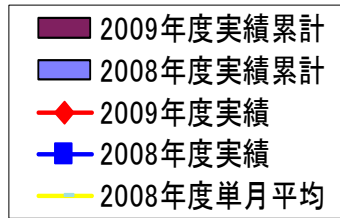
2009年度目標	施策
紙使用量の削減施策を徹底実施し、紙購入量を前年度実績比較で5%削減する	<ul style="list-style-type: none">・両面・Nアップコピー推進・電子プレゼン推進 (紙資料配付せず)・複合コピー機への置換え推進、台数削減・電子文書管理システムの活用・ペーパーレス会議システムの活用

各種の紙使用量削減施策を行った結果、大幅な削減を実施できました。紙出力しない仕事のやり方、紙資料を配布しない会議の方法が定着化し、さらに削減が可能であると考えています。

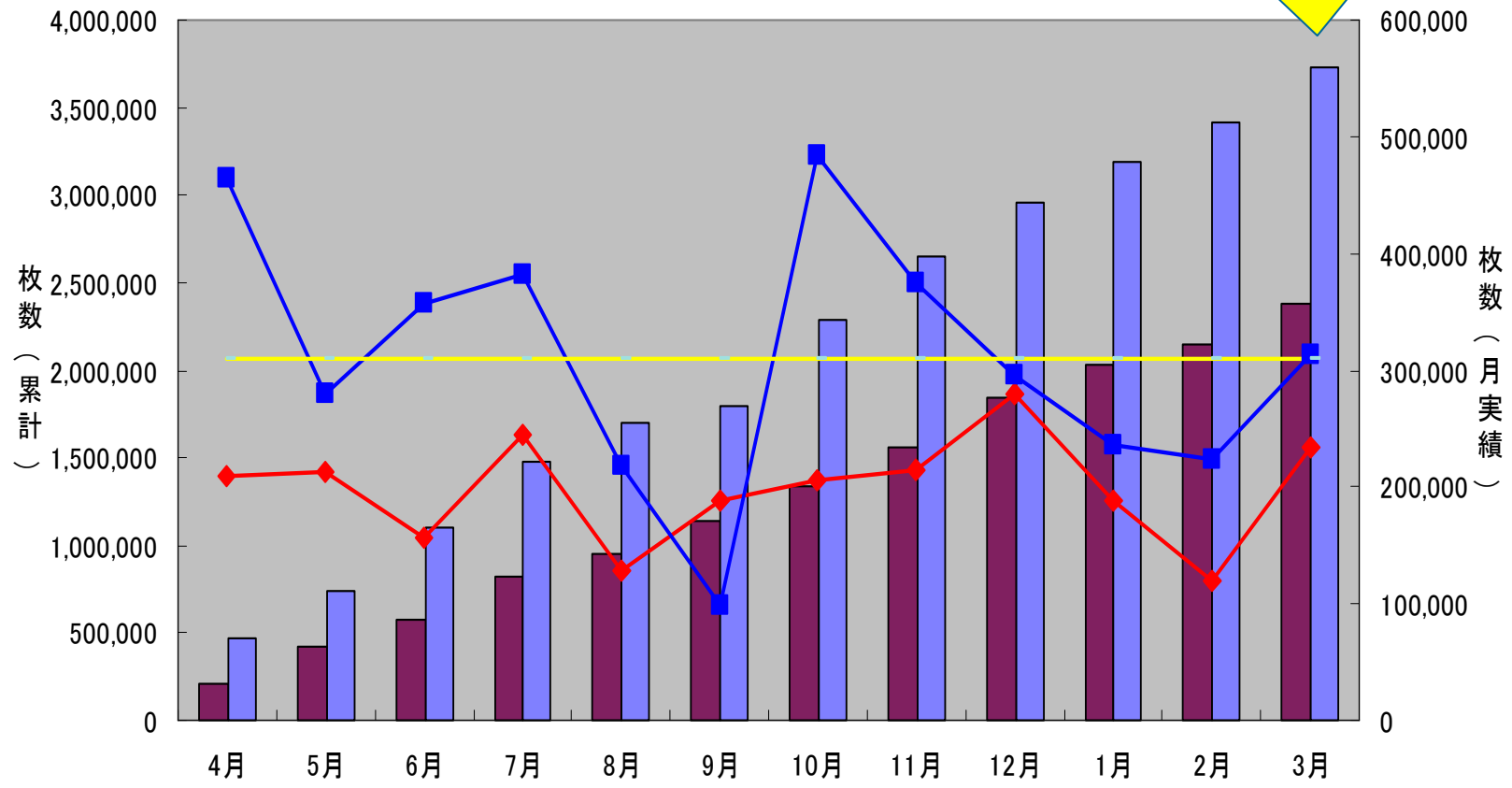
実績: 36%削減

8-4-①

NIS 3ビルコ-用紙購入実績



年間36%減



8-5. 廃棄物管理:

分別廃棄定着

2009年度目標	施策
分別廃棄の継続的徹底	フロア毎に環境委員による巡回を定期的 に実施

分別廃棄はあたりまえのように定着化しつつありますが、毎月の職場巡回のときに若干の廃棄間違いがあります。間違った廃棄物は廃棄コーナーに展示したり、張り紙をすることで改善を図っています。管轄の自治体によって分別区分が異なるため、ビル別にイラスト入りの分別早わかりポスターを作成して分別間違いを防いでいます。

10. 用語説明(ご参考)

環境報告書には、NECグループ独自で使っている環境用語がありますので、用語の意味・内容を以下に掲載します。ご参考ください。

・「環境アセスメント」とは

環境汚染や破壊を未然に防止するため、開発行為が環境に及ぼす影響について、あらかじめ調査、予測、評価する事です。NECでは、事業活動の変化に伴って発生する環境影響を事前に予測し評価するため環境アセスメントを実施しています。評価手法があります。

製品アセスメント (Product Assessment)
環境配慮型製品の開発のため、設計の段階で省資源、省エネルギー、リサイクル可能性等について評価。

・「エコソフト／エコサービス」とは

開発における製品環境アセスメントを実施し、ソフトウェア／サービスの環境配慮25評価項目の内、該当する項目すべてに適合した環境配慮型ソフトウェア／サービス

・「環境負荷評価」とは

エコ・ソリューション設計支援ツールを用いてお客様への導入前後の環境負荷を評価

・「エコシンボルスター」とは

環境ラベルのひとつ。環境配慮型製品の開発促進と製品に関する環境情報をお客さまへ積極的に提供することを目的として、1998年12月にスタートしたNEC社内制度。エコプロダクツ(環境配慮型製品)基準24項目に加え、製品群別環境配慮基準を全て満足し、あるいは業界トップレベルの環境配慮項目が1つ以上ある製品をいう。

・「エコ・アピールプロポーザル」とは

お客さまへの提案の際に、NECの環境経営や提案案件における環境配慮性(省エネ、省資源、有害物削減等の環境要素)を提案書の中に組み込みアピールしているもの。

当社の環境活動に関するお問合せ窓口

株式会社NEC情報システムズ環境推進事務局
メールアドレス: env@nis.jp.nec.com

以 上